

旧交 観談



10人が元気な顔をそろえ、喜寿を祝った(平成24年11月7日、京都市中京区の六角堂)



5～6年担任だった奥美保樹先生(前列右から3人目)と収まった卒業記念写真(昭和24年3月25日、母校校庭)

国民学校入学の38人が卒業時には47人に。3年時に終戦を迎え、疎開先から戻った転入生で増えたためだ。戦後の食糧難で闇米の買

松ヶ崎小学校

山を二つ越えて宝ヶ池へ

い出しや物々交換も体験したが、楽しい子ども時代を過ごした。「山二つ越えて宝ヶ池へ泳ぎに行き、帰りが遅くなってよく叱られた。わき水で冷たい所があったね」と河村經之さんが言えは、富田清さんも「水草のジュンサイが繁茂し、足にからんで怖かった」と振り返る。「わらじ履きで缶蹴りは足の親指が痛くて」と笑う。同窓会は高校入学以降、毎年続いているが、昨年の喜寿を祝う会は参加者10人と例年より少なかった。幹事の山本司郎さんは「6年間一緒だった絆は強く、いつも17人集まるのだが…。次回はもっと大勢集めたい」と期待する。

1949 (昭和24) 年卒業

松ヶ崎小三三会

(京都市左京区)